

令和2年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	実務経験のある 教員による授業 科目	基礎・専門 別	単位数	選択・必修 別	開講年次・ 時期
52421	幼児と健康 Health for Early Childhood	伊藤 智式		専門	1	必修	1年後期

**科目の概要**

幼児の発育発達と健康についての理解を深める。また、幼児の興味や関心、能力に応じた遊びを学び、心と体の健康を促す運動や基礎的運動技能習得の過程を理解する。そして、保育者として必要な運動と健康に関する技能を身につけるとともに、子どもの活動に関わる安全管理について学ぶ。

学修内容	到達目標
幼児の心と体の発育発達と健康について学ぶ。 幼児の能力に応じた運動遊びについて学ぶ。 幼児の運動技能の習得過程について学ぶ。 幼児の活動に関する安全管理を学ぶ。	幼児の心と体の発育発達と健康について説明できる。 幼児の能力に応じた運動遊びを系統的に理解し実践できる。 幼児の運動技能の習得過程を説明できる。 幼児の活動に関する安全管理の方法を理解し実践できる。

**学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素**

**学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	自己の課題を認識し、自発的に学修を取り組むことができる。
	働きかけ力	グループ活動において、他者の意欲が高まるような積極的な働きかけができる。
	実行力	幼児の遊びの技能とその指導法を習得できるように粘り強く取り組むことができる。
考え抜く力	課題発見力	子どもの活動に関わる安全管理についての問題点を認識できる。
	計画力	授業の予習復習において、計画的に学修を進めることができる。
	創造力	与えられた課題に取り組み、それをどのように応用し発展させるかを創造できる。
チームで働く力	発信力	グループ活動において、自分の役割を自覚し、自分の考えを分かり易く相手に伝えることができる。
	傾聴力	他者の意見を尊重し、聞き入れることができる。
	柔軟性	自分と異なる意見や考えを理解し、建設的な働きかけができる。
	状況把握力	周囲の状況に配慮した適切な行動ができる。
	規律性	無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	ストレスの原因を客観的に分析し、これを克服することで、自分が成長できると捉えることができる。

**テキスト及び参考文献**

テキスト：なし。 参考資料を随時配布します。  
 参考文献：「たのしい運動あそび」岩崎洋子著：チャイルド本社。  
 「体育あそび」米谷光弘著：ひかりのくに株式会社。  
 「保育所保育指針」厚生労働省。「幼稚園教育要領」文部科学省。  
 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」内閣府。

**他科目との関連、資格との関連**

他科目との関連：幼児と健康、保育内容(健康)、体育実技、体育講義  
 関連する資格：保育士、幼稚園教諭二種免許、レクリエーションインストラクター

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 演習で行った内容とその留意点を記録しておくこと。</li> <li>・ 子どもの視点と保育者の視点の両方から考えてほしい。</li> <li>・ 演習実技に対し積極的に取り組んでほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出席が必要回数に満たない場合は無資格となる。</li> <li>・ 課題実技を習得すること。</li> <li>・ 授業態度が悪く、他の学生の迷惑になる学生は退席してもらう。</li> </ul>

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験		①				
			②				
			③				
			④				
			⑤				
	平常評価	小テスト		①			
				②			
				③			
				④			
				⑤			
		レポート	20	①		✓	・課題 「幼児の興味関心と能力に応じた運動遊びについて」 安全管理に留意すべき点も含めて評価する 「幼児の発育発達と健康について」
				②		✓	
				③		✓	
				④		✓	
				⑤			
成果発表 (プレゼンテーション・作品制作等)	70	①	✓	・幼児の能力に応じた運動遊びが実践できるか評価する。 ・授業実践記録について評価する。 ・実技において安全管理の有効な方策が実践できているか評価する。 ・与えられた課題に対し積極的に取り組んでいるか評価する。 ・準備作業やグループワークにおいて、周囲の状況に配慮した取り組みができるか評価する。			
		②	✓				
		③	✓				
		④	✓				
		⑤					
学修行動	社会人基礎力(学修態度)	10	①	✓	(主体性) ・自己の課題を認識し、自発的に学修に取り組むことができる。 (働きかけ力) ・グループ活動において、他者の意欲が高まるような積極的な働きかけができる。 (実行力) ・幼児の遊びの技能とその指導法を習得できるように粘り強く取り組むことができる。 (課題発見力) ・幼児体育の指導法や安全管理についての問題点を認識できる。 (創造力) ・与えられた課題に取り組み、それをどのように応用し発展させるかを創造できる。 (発信力) ・グループ活動において、自分の役割を自覚し、自分の考えを分かり易く相手に伝えることができる。 (傾聴力) ・他者の意見を尊重し、聞き入れることができる。 (状況把握力) ・周囲の状況に配慮した適切な行動ができる。 (規律性) ・無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。 ・欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤				
総合評価 割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
・幼児の心と体の発育発達と健康を理解し説明できる。(A) ・幼児の能力に応じた運動遊びを系統的に理解し実践できる。(A、S) ・周囲の状況を考慮し、臨機応変に対応ができる。(S)	・幼児の運動遊びの技能を習得できている。(C) ・幼児体育の指導を理解し実践できる。(B) ・幼児の活動に関する安全管理の方法を理解し実践できる。(B)

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	授業のねらいや内容、評価について学ぶ。幼児の運動と健康についてのこれまでの研究成果について学ぶ。	講義 演習	授業のねらいや内容、評価について理解できる。	幼児の運動と健康について復習する。	45	傾聴力 課題発見力
2週 /	幼児の基本的な運動と健康のねらいや意義について学ぶ。歩く、走る、飛ぶ、手足の動作、ゲームなどを体得する。	演習、実技 実技についての相互評価	歩く、走る、飛ぶ、手足の動作、ゲームなどを体得できる。	歩く、走る、飛ぶ、手足の動作などを記録し復習する。	45	主体性 実行力
3週 /	幼児の基本的な運動と健康のねらいや意義について学ぶ。少人数での運動遊びやゲームの方法を学ぶ。	演習、実技 実技についての相互評価	幼児の基本的な体操と少人数での運動遊びやゲームの方法を理解できる。	幼児の体操と少人数での運動遊びの方法を記録し復習する。	45	主体性 実行力
4週 /	幼児の基本的な運動と健康のねらいや意義について学ぶ。少人数での運動遊びやゲームの様々な方法を学ぶ。	演習、実技 実技についての相互評価	幼児の基本的な体操と少人数での運動遊びやゲームの様々な方法を理解できる。	幼児の体操と少人数でのゲームの方法を記録し復習する。	45	主体性 実行力
5週 /	幼児の個の動きや遊びを集団に広げていく方法を学ぶ。巧技台、平均台などの器具を使った遊びを体験しその指導法を学ぶ。	演習、実技 グループワーク、 実技についての相互評価	巧技台、平均台などの器具を使った遊びを体験しその指導法を理解できる。	器具を使った遊びの指導法を記録し復習する。	45	働きかけ力 実行力 状況把握力
6週 /	幼児の個の動きや遊びを集団に広げていく方法を学ぶ。マットを使った遊びを体験しその指導法を学ぶ。	演習、実技 グループワーク、 実技についての相互評価	マットを使った遊びを体験しその指導法を理解できる。	マットを使った遊びの指導法を記録し復習する。	45	働きかけ力 実行力 状況把握力
7週 /	幼児の個の動きや遊びを集団に広げていく方法を学ぶ。ものまね遊び、ロープを使った遊びを体験しその指導法を学ぶ。	演習、実技 グループワーク、 実技についての相互評価	ものまね遊び、ロープを使った遊びを体験しその指導法を理解できる。	ものまね遊び、ロープを使った遊びの指導法を記録し復習する。	45	働きかけ力 実行力 状況把握力
8週 /	幼児の「ボール」を用いた運動遊びを体験し、その指導法を学ぶ。	演習、実技 実技についての相互評価	幼児の「ボール」を用いた運動遊びを体験し、その指導法を理解できる。	「ボール」を用いた運動遊びの指導法を記録し復習する。	45	主体性 実行力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	幼児の「縄とび、新聞」を用いた運動あそびを体験し、その指導法を学ぶ。	演習、実技 実技についての相互評価	幼児の「縄とび、新聞」を用いた運動あそびを体験し、その指導法を理解できる。	「縄とび、新聞」を用いた運動遊びの指導法を記録し復習する。	45	主体性 実行力
10週 /	幼児の「フープ、タスキ、棒」を用いた運動遊びを体験し、その指導法を学ぶ。	演習、実技 実技についての相互評価	幼児の「フープ、タスキ、棒」を用いた運動遊びを体験し、その指導法を理解できる。	「フープ、タスキ、棒」を用いた運動遊びの指導法を記録し復習する。	45	主体性 実行力
11週 /	幼児の「玉入れ、マト当て」を用いた運動遊びを体験し、その指導法を学ぶ。	演習、実技 実技についての相互評価	幼児の「玉入れ、マト当て」を用いた運動遊びを体験し、その指導法を理解できる。	「玉入れ、マト当て」を用いた運動遊びの指導法を記録し復習する。	45	主体性 実行力
12週 /	幼児のルールのある遊びを通して、子ども健康に関わる心と体の発達の意義について学ぶ。	演習、実技 グループワーク、 実技についての相互評価	幼児の自由遊びからルールのある遊びへの展開について具体的な遊びを理解できる。	幼児の自由遊びからルールのある遊びへの展開について復習する。	45	働きかけ力 実行力 規律性
13週 /	幼児のルールのある遊びを通して、子ども健康に関わる心と体の発達の意義について学ぶ	演習、実技 グループワーク、 実技についての相互評価	幼児の自由遊びからルールのある遊びへの展開について具体的な遊びを理解できる。	幼児の自由遊びからルールのある遊びへの展開について復習する。	45	働きかけ力 実行力 規律性
14週 /	幼児のルールのある遊びを通して、子ども健康に関わる心と体の発達の意義について学ぶ	演習、実技 グループワーク、 実技についての相互評価	幼児の自由遊びからルールのある遊びへの展開について具体的な遊びを理解できる。	幼児の自由遊びからルールのある遊びへの展開について復習する。	45	働きかけ力 実行力 規律性
15週 /	授業の中で体験した実技とその理論について、幼児、保育者それぞれの視点から考察する。	演習	授業の中で体験した実技とその理論について、幼児、保育者それぞれの視点に立って考察ができる。	幼児、保育者それぞれの視点でこれまでのまとめをする。	45	傾聴力 課題発見力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力

令和2年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	実務経験のある 教員による授業 科目	基礎・専門 別	単位数	選択・必修 別	開講年次・ 時期
52422	幼児と健康Ⅱ Health and Young ChildrenⅡ	秦 真人		専門	1	必修	2年前期

**科目の概要**

体遊び、集団あそびなど、動く楽しさを実践し、子どもたちの遊びが豊かにできるように、発達段階に応じた指導内容と指導方法を身につけ、人間の基本的要素である身体活動に必要なタイミング、バランス感覚を、最も体得しやすい幼児期に引き出す方法を学習する。また、子どもの発育・発達段階を理解し、健康な心と体を育てるための基本的な運動遊びと保育、及び安全対策について取り組み方や、実技試験における知識と技術を身につけていく。

学修内容	到達目標
① 幼児の発育・発達段階を理解し、運動と健康の関係について学習する。 ② 幼児の年齢、発達状況に応じた適切な運動・遊びを学習する。 ③ 動く楽しさを理解し、子どもの前で行うイメージをもちながら、遊びを説明できることを目的とする。 ④ 集団あそびを習得し、子どもの前で説明できることを目的とする。	① 幼児の発育・発達段階について理解できるようになる。 ② 発達状況に応じた適切な運動・遊びが理解できるようになる。 ③ 子どもの前で行っているイメージをもって、遊びを発表できるようになる。 ④ 子どもたちと多種の集団あそびが行えるようになる。

**学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素**

**学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	自己の課題を認識し、自発的に学修に取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	幼児の遊びの技能とその指導法を習得できるように粘り強く取り組むことができる。
考え抜く力	課題発見力	幼児体育の指導法や安全管理についての問題点を認識できる。
	計画力	
	創造力	えられた課題に取り組み、それをどのように応用し発展させるかを創造できる。
チームで働く力	発信力	グループ活動において、自分の役割を自覚し、自分の考えを分かり易く相手に伝えることができる。
	傾聴力	傾聴力 他者の意見を尊重し、聞き入れることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

**テキスト及び参考文献**

テキスト：特になし。 参考資料を随時配布します。  
 参考文献：幼稚園教育要領（平成29年3月告示）、保育士指導要領、「たのしい運動あそび」岩崎洋子著：チャイルド本社、「体育あそび」米谷光弘著：ひかりのくに株式会社。

**他科目との関連、資格との関連**

他科目との関連：幼児体育Ⅰ、体育実技、体育講義。  
 関連する資格：保育士、幼稚園免許、レクリエーションインストラクター。

学修上の助言	受講生とのルール
・演習で行った内容とその留意点を記録しておくこと ・子どもの視点と保育者の視点の両方から考えてほしい。 ・演習実技に対し積極的に取り組んでほしい。	・出席が必要回数に満たない場合は無資格となる。 ・欠席や遅刻は減点する。 ・課題実技を習得すること。 ・授業態度が悪く、他の学生の迷惑になる学生は退席してもらう

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記(レポート含む)・実技・口述試験		①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト			①			
					②			
					③			
					④			
					⑤			
		レポート		30			①	✓
							②	✓
							③	✓
							④	✓
							⑤	
成果発表(プレゼンテーション・作品制作等)		60		①	✓			
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤				
学修行動	社会人基礎力(学修態度)		10	①	✓			
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤				
総合評価 割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児の運動遊びの技能を数多く習得できている。(A)</li> <li>・ 幼児の発育発達と運動技能の習得過程について理解した上で、幼児体育の指導を実践できる。(A、S)</li> <li>・ 周囲の状況を考慮し、臨機応変に対応ができる。(S)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児の運動遊びの技能を習得できている。(C)</li> <li>・ 幼児体育の指導を理解し実践できる。(B)</li> <li>・ 幼児の活動に関する安全管理の方法を理解し実践できる。(B)</li> </ul>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	オリエンテーション 子どもの発達と表現の特徴を学ぶ。	講義、演習後	授業のねらいや内容、評価について理解できるようになる。	幼児の発達について予習・復習する。	30	傾聴力 課題発見力
2週 /	子ども健康と運動 心と体の健康の関連と保育のあり方について学ぶ。	演習、実技後 実技についての相互評価	授業のねらいや内容、評価について理解できるようになる。	歩く、走る、飛ぶ、手足の動作などを予習し、記録して復習する。	90	主体性 実行力
3週 /	子どもの健康と運動 子どもの発育・発達の特徴について学ぶ。	演習、実技後 実技についての相互評価	幼児の基本的な体操と少人数での運動遊びやゲームの方法を理解できるようになる。	幼児の体操と少人数での運動遊びの方法を予習し、記録して復習する。	90	主体性 実行力
4週 /	子どもの運動と健康 幼児の運動発達と遊びについて学ぶ。	演習、実技後 実技についての相互評価	幼児の基本的な体操と少人数での運動遊びやゲームの方法を理解できるようになる。	幼児の体操と少人数でのゲームの方法を予習し、記録して復習する。	90	主体性 実行力
5週 /	運動遊びと安全対策 保育者としての遊びを通しての安全管理について学ぶ。	演習、実技後 実技についての相互評価	器具を使った遊びを中心に安全管理について理解できるようになる。	器具を使った遊びの注意点を予習し、記録して復習する。	90	働きかけ力 実行力 状況把握力
6週 /	グループ実践 2.3歳児のふれあいあそび構成・練習をする。	演習、実技後 グループワーク、実技についての相互評価	2.3歳児のふれあいあそびを体験しその指導法を理解できるようになる。	2.3歳児のふれあいあそびの指導法を予習し、記録して復習する。	90	働きかけ力 実行力 状況把握力
7週 /	グループ実践する。 4.5歳児のふれあいあそび構成・練習をする。	演習、実技後 グループワーク、実技についての相互評価	4.5歳児のふれあいあそびを体験しその指導法を理解できるようになる。	4.5歳児のふれあいあそびの指導法を予習し、記録して復習する。	90	働きかけ力 実行力 状況把握力
8週 /	グループ実践 子どもの集団遊び 5人前後でできる集団遊びをする。	演習、実技後、 フィードバックする。 グループワーク、実技についての相互評価	5人前後でできる集団遊びを体験し、その指導法を理解できるようになる。	5人前後でできる集団遊びの指導法を予習する。 5人前後でできる集団遊びの指導法を記録して復習する。	90	主体性 実行力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	グループ実践 子どもの集団遊び 10人前後でできる集団遊びをする。	演習、実技後 グループワーク、 実技についての相互評価	10人前後でできる集団遊びを体験し、その指導法を理解できるようになる。	10人前後でできる集団遊びの指導法を予習する。 10人前後でできる集団遊びの指導法を記録し復習する。	90	主体性 実行力
10週 /	グループ実践 子どもの集団遊び 20人前後でできる集団遊びをする。ひ	演習、実技後 グループワーク、 実技についての相互評価	20人前後でできる集団遊びを体験し、その指導法を理解できるようになる。	20人前後でできる集団遊びの指導法を予習する。 20人前後でできる集団遊びの指導法を記録し復習する。	90	主体性 実行力
11週 /	グループ実践 子どもの集団遊び 30人以上でできる集団遊びをする。	演習、実技後 グループワーク、 実技についての相互評価	30人以上でできる集団遊びを体験し、その指導法を理解できるようになる。	30人以上でできる集団遊びの指導法を予習する。 30人前後でできる集団遊びの指導法を記録し復習する。	90	主体性 実行力
12週 /	「課題」の実技試験にむけて ・集団遊びを考えよう ・実技試験の課題・方法・マナーについて学ぶ。	演習、実技後 グループワーク、 実技についての相互評価	幼児の自由遊びからルールのある遊びへの展開について具体的な遊びを理解できるようになる。	幼児の自由遊びからルールのある遊びへの展開について予習・復習する。	90	働きかけ力 実行力 規律性
13週 /	みんなの前でやってみよう 実践I 「課題」の実技試験導入のポイントについて実践する。	演習、実技後 グループワーク、 実技についての相互評価	幼児の自由遊びからルールのある遊びへの展開について具体的な遊びを理解できるようになる。	幼児の自由遊びからルールのある遊びへの展開について予習・復習する。	90	働きかけ力 実行力 規律性
14週 /	みんなの前でやってみよう 実践II 「課題」の実技試験導入のポイントについて実践する。	演習、実技後 グループワーク、 実技についての相互評価	幼児の自由遊びからルールのある遊びへの展開について具体的な遊びを理解できるようになる。	幼児の自由遊びからルールのある遊びへの展開について予習・復習する。	90	働きかけ力 実行力 規律性
15週 /	まとめ・レポート作成する。	演習後、 フィードバックする。	授業の中で体験した実技とその理論について、幼児、保育者それぞれの視点に立って考察ができるようになる。	幼児、保育者それぞれの視点でこれまでのまとめを作成。レポート作成。	90	傾聴力 課題発見力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力